

その ゲッセマネの園で



じゅうじ か 十字架に かけられる ぜんや 前夜、イエス様は さま でし 弟子たちと いっしょに、オリブ山にある
ゲッセマネという その い 園へ 行かれた。

イエス様は、さま じぶん 自分が うらぎ 裏切られて たいほ 逮捕され、さいご 最後には しけい 死刑に なることを ごぞんじだっ
た。それで、イエス様は さま ゲッセマネの その 園で てんごく 天国の ちち 父に いの あいだ でし 祈る 間、弟子たちに みは
いるようにと い 言われたんだよ。

イエス様は さま ちち 父に ねが お願いしていた。この くる 苦しみの さかずき(さだめられた うんめい 運命)を
と さ 取り去ってくださいってね。だけど、いの さいご 最後では、それを ちち 父の み心(こころ)に ゆだ 委ねた
んだよ。イエス様は さま 祈(いの)られたんだ。「わが父よ、もし できることでしたら どうか、
この さかずきを わたしから す 過ぎ去らせてください。しかし、わたしの おも 思いのままにで
はなく、み心(こころ)のままに なさってください。」(こう ご やくせいしょ 口語訳聖書、マタイによる 福音書 26:39)

わたしたちの あやまちの つぐないを するために、イエス^{さま}様が わたしたちの 代わり
に 十^{じゅう}字^じ架^かで 死^しぬことも いとわなかったというのは、本^{ほん}当^{とう}に すごい ことだよね！

「人^{ひと}が その 友^{とも}のために 自^じ分^{ぶん}の 命^{いのち}を 捨^すてること、これよりも 大^{おお}きな 愛^{あい}は ない。」
(口^{こう}語^ご訳^{やく}聖^{せい}書^{しょ}、ヨハネによる 福^ふ音^く書^{しょ} 15:13)

この お話^{はなし}の 一^{いち}部^ぶ始^し終^{じゅう}は、マタイによる 福^ふ音^く書^{しょ}の 26 章^{しょう} 36-45 節^{せつ}と、マルコによる
福^ふ音^く書^{しょ}の 14 章^{しょう} 32-36 節^{せつ}に 書^かかれているから、読^よんでみてね。

文と絵 : ディディエ・マーティン

Copyright © 2011 年、ディディエ・マーティン 使用許諾取得済

"In the Garden of Gethsemane"--Japanese

<http://www.mywonderstudio.com/level-1/2012/3/21/in-the-garden-of-gethsemane.html>